



第 82 号

発行所

NPO法人上田市
身体障害者福祉協会
事務局 386-0012 上田市中心3-5-1
上田市ふれあい福祉センター内
発行人 堀内 清
編集人 光りの友編集委員会
印刷 スズキ総合印刷



上田市長 土屋陽一

あけましておめでと
うございます。

希望に満ちた輝かしい新春を迎え、
会員の皆様のご多幸とご健康を心から
お祈り申し上げますとともに、日ごろ
市政にお寄せいただいておりますご支
援、ご協力に対し心より御礼申し上げ
ます。

障がい福祉計画」
などを策定するた

め、2000世帯の市民の皆様を対象
に、アンケート調査を実施させていた
だきました。アンケートにご協力いた
だいた皆様へ御礼申し上げますととも
に、いただいた皆様へ御礼申し上げます
とともに、より良い福祉施策が行えま
すよう努めてまいります。

また、私たちの身近な生活では、円安
に伴う輸入農産物
や燃料などの歴史
的な物価高騰に伴

謹賀新年

新年のごあいさつ

上田市社会福祉協議会
会長 宮之上孝司



謹んで新春のお慶び
を申し上げます。

社協皆様におかれましては、日ごろか
ら福祉推進のために献身的な取り組み
をされ、また、社協事業に対しまして
御理解と御支援を賜り深く感謝申し上
げます。

さて、現在も長期化している新型コ
ロナウイルス感染症は、非日常が日常
化し生活環境を大きく変化させ、地域

や個人の新たな課題を生み、社会情勢
はさらに複雑多様化しております。

当会では、大きな社会情勢の変化に
より生まれるニーズを汲み取り、生活
困窮者の方に寄り添い支援を行う「ま
いさほ上田」や、食品ロス削減と食糧支
援を結びつける活動「フードドライブ
事業」、子ども服のリユース事業「ふく
ふくひろば」など、市民の皆様との御理
解と御協力をいただき、さまざまな取
組みを行っております。

い、生活に大きな影響が出ております。
上田市では重度障がいのある非課税
世帯の方などへの支援金をはじめ、各
種の生活者支援及び事業者支援として
市の独自施策を実施しております。
新型コロナウイルス感染症など、未
だ私たちの社会生活に多大な影響を及
ぼしておりますが、市民の皆様が安心
して快適な生活ができるよう、加速す
る社会変革にも柔軟に対応しながら歩
み続けてまいります。

本年の皆様にとつて、健康で幸多い
年となりますよう心からお祈り申し上
げ、年頭のあいさつといたします。

福祉とは、誰もが自分らしく当たり
前に生活できる社会を作っていくこと
です。刻々と変化する社会情勢に柔軟
に対応し、福祉課題を的確に捉え、「笑
顔花咲く上田市社協」をコンセプトに、
ひとりでも多くの方が笑顔になれるよ
う、皆様と共に歩む社協を目指してま
いります。

当会に対しまして、変わらぬ御理解
と御支援を賜りますよう、よろしくお
願い申し上げます。

末筆ながら、会員皆様のますますの
御健勝と御多幸を心からご祈念申し上
げます。



NPO法人上田市身体障害者福祉協会
理事長 堀内 清

あたらしい年を迎え、この一年
の皆様のご健康を心からお祈り
申し上げますとともに、私共の協
会にお寄せいただいたご支援ご協力に
対して厚くお礼申し上げます。

昨年市長及び市議会議員選挙が行わ
れまして、土屋陽一市長が二期目の当選
をされ、市議会議員選挙では女性候補が
一位で当選され、女性議員が五名となり
まして四月より新体制でスタートとなり
ました。

新型コロナウイルスで中止・延期に
なっていました各種行事も、縮小されて
行うことができました。善光寺の御開帳
は四月三日から開催され、御柱祭も諏訪
をはじめ各地で開催されました。しかし、
コロナ感染はとどまることなく、終息の
兆しは全く見えません。外でのスポーツ
競技は観客を制限して行うことができま
した。

今年には県議会議員選挙もあります。ま
た、当協会も役員改選の年です。二月に
は選考委員会を開催して令和五年度の
役員選出となります。

令和に入ってから三年間の総会は書面
表決で会員の皆様にお会いできず、とて
も残念に思っております。今後は、皆様
とお会いして交流ができるようにと願
うばかりです。

コロナ禍ではありますが、明るく元
気の出る一年を期待し、本年の皆様
のご活躍をご祈念申し上げます。

各部活動報告

総務部

吾妻 博夫

昨年も終息の見えないコロナウイルス禍の中、協会の活動・行事等も制限され、思うように計画を推進できませんでした。感染状況により実施直前に会場の開催人員や(二十六人以上の会場確保が困難)諸事情により縮小や変更、または中止せざるを得ないことが多くありました。このため、会員の皆様にご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。通常総会も会場の確保が難しく、やむを得ず昨年同様書面議決とさせて頂きました。

協会は会員の高齢化、これに伴う活動会員の減少、会員の減少、助成金の削減、コロナ禍による収益の減少、行事・活動の停滞と、厳しい状況が続いております。このような時だからこそ、会員の輪と絆を強め、団結し克服していきましょう。今年こそはコロナウイルスが遠い昔話になることを願いながら、皆様方のご協力とご支援を頂きながら、諸問題・行事・活動が少しでも前進できるように歩みたいと思います。「愛と連携で誰でも集える身障協」のスローガンの元、支え合助け合いながら明日に希望を。

会計部

小沼 紘代

コロナウイルスは感染力の強いものに変異し、感染の再燃が繰り返され、終息の見えない不安な日々が続いております。さらに急激な円安に伴い物価が上昇、一部経済活動は再開されましたが、弱者の我々には厳しい状況が継続しております。コロナ禍による影響で協会収益もなかなか改善されません。

また、若者の協会離れ、会員の高齢化等で会員の減少が進んでおります。しかし協会の運営費、上部団体への固定費等は減少しておらず収支バランスが悪いくらい状態が続いております。そのため支出を節約し、重点事業に留意した会計をさせて頂きました。何かとご不便をおかけ致しましたが皆様のご協力を頂き、事業が遂行できました。御礼申し上げます。

新年も物価高、コロナウイルス等、薄暗く先の見えにくい状況です。コロナに負けず、会員の笑顔が協会に満ち溢れる日を望みながら頑張ります。

厚生福祉事業部

西川 洋美

県より新型コロナウイルス感染症拡大の第8波に入ったと報道

がありました。また、円安、物価高騰等で家計が圧迫される今日この頃です。協会では行事の中止もありますが前進してまいります。10月の赤い羽根募金、女性部の研修会、11月の福祉大会等々です。

11月7日には、日帰り温泉親睦旅行を3年ぶりに実施しました。武石温泉うつくしの湯です。下見や支配人との打ち合わせを数回行いました。余興では、ボランティアアングループによる懐かしい曲のハーモニカ演奏もありました。良い天気の中で無事終了し、安堵しました。

また、城下支部では寝たきり会員の調査をしました。一人の該当者に11月下旬、慰問品をお届けしました。私もコロナワクチンを接種しました。

厳しい冬を乗り越えて健康を維持していきたいと思えます。



た。会員の皆様、そして原稿をお寄せくださった皆様、多方面にわたり支えていただいた方々に感謝申し上げます。

「光りの友」は協会の活動の様子や情報をわかりやすくお伝えするという目的を重視しながら、会員の皆様の交流を図るひとつの「きっかけ」になるような紙面作成を心がけております。今回、「手話コーナー」を聴覚部会員の方にご協力いただき、掲載しました。千支の兎さんの温かさが伝わってきますね。素敵な作品をありがとうございます。

魅力のある紙面を作り上げるには、読者の皆様と編集スタッフの共同作業が不可欠だと思います。会員の皆様の知りたいことや知らせたいことなど、ご意見をお聞かせください。事務局または広報部でいつでも対応させていただきます。お待ちしております。よろしくお願いいたします。

広報部

高木 津留子

広報部では、広報紙「光りの友」を一月と八月の年二回発行しております。このたびは第82号をお届けすることになりました。

女性部 専門部

百瀬 久美子

お待たせしました。十月二十七日、素晴らしい方にお越し頂き、演奏会を行いました。SBCラジオ「里枝子の窓」でお馴染みの、盲導犬と共に東



御市でお暮らしの広沢里枝子さんです。めつたにお目にかかれないう忙しい里枝子さんが快くお引き受け下さり、このような機会を持つことができました。大学生の時に視力を失い、あらゆる困難を乗り越え新潟の師匠に入門、警女唄を習い、沖繩まで出かけています。

当日は着物姿で見え、いざ始まったときの唄と三味線の凄さは圧巻でした。「生きている限り命響かせて」そのものでした。一曲ごとに唄の紹介と演奏。足元には静かにワンちゃんが聞き入り、普段の暮らしに根づいた唄、祝い唄など何曲も時間いっぱいマラソランナーの如く演奏して頂きました。ありがとうございました。

大会議室にもかかわらず、かなりの人数制限があり、希望されたのに抽選で漏れてしまわれた方、ごメンナサイ。今後の活動はコロナ感染の様子を見ながら、どのようにするか検討中です。

赤い羽根 街頭募金について

西川 洋美

赤い羽根共同募金は、福祉活動をされる色々な民間団体を支える仕組みです。子供や高齢者、障がいのある方々を支援する福祉活動に役立てられています。

10月2日に街頭募金を行いました。2日前に備品を取りに行きました。Aコープ・コアしおだ店に行き、店長さんに挨拶をし準備をしていたらもう一人の方がこられて「三時間、頑張ろう」と二人で店頭に立ちました。まもなく店から出られたお客様が募金をしてくださいました。三十分位の間に次々と募金をいただきました。中には子供さんがお母さんと一緒に来てくれました。ほほえましく思いました。一時間位したら理事長さんと吾妻さんがこられて「ご苦労さん」と言われました。私たちの活動が少しでも地域の役に立つてくれたらと思います。夕方4時ごろふれあいセンターに行くと、他の活動4グループも戻っており納入を済ませ1日が終わりました。



令和4年度 『命をいただいで』 第16回 社会福祉大会に参加して

東塩田支部 ダン・タイカン

「食べ物はずべて生命あるものです。野菜も果物も魚も肉も。私たちは、生命をいただいで生きています。」令和四年十一月二日、サン

トミーゼ大ホール。講師、井出留美氏の呼びかけの言葉が、聞く人の心に深く沁み込んできた。

「食品ロス、ゼ」
口を考えよう。持続可能な社会を目指して、今できること」と題した講演会。冒頭の呼びかけだった。新型コロナウイルス感染拡大のため延期されていた大会。身障協からは、理事長さんや各部長さん、広報部員、総勢八人が参加した社会福祉大会だ。式典は五十分。時間が長すぎると感じたが、表彰や祝辞だから、ま、しょうがないか。八年九年、中には三十年以上の長い間、社会福祉活動を続けてきた方々へのご褒美の表彰だからネ。アトラクションは健康体操。会場全体が一体感がぐんぐんと盛り上がりつつきて楽しかった。大会テーマは「あつたかい心あふれる協働のまち〜笑顔花咲く上田市社協〜」というもので、主催は上田市社会福祉協

議会。我々身障協は八十九ある協賛団体の一つ。実に多くの人々が社会福祉に関わっていることが分かる。改めて感心し感激した次第だ。
ところで、我等が長野県民として嬉しいことは、茅野市出身の小平奈緒選手が信州大学の特任教授に任命されたことだ。輝くばかりの大活躍なのに、いつも控えめなコメントで好感を持っていた。心から祝福したい。そして渡部暁斗選手もまた、いぶし銀の大奮闘ノブラボー！
それにつけても「どうした御嶽海、あなたは長野の希望の星なんだぜ。しつかりせいや」と言わずにはいられない。
牧秀悟選手、君も輝いたね。おめでとう新人特別賞、そしてベストナイン賞。まずは精進せいやノ応援してるぜい。我らは、あなたの方のように陽向の道は歩けなくても、かかえた障害を相棒として「笑顔花咲く仲間たち」と手を携えて生きてるんだぜ。これまでも、そしてこれからはずっと、ずーっと。

シリーズ 上田の散歩みち2

「三吉米熊」

神科第二支部 中曾根 孝一

前回にちよつと触れましたが、三吉米熊が上田地域における蚕業教育に貢献したこと。しかしながら、この上田地域でなぜそのような地域活動が盛んだったのでしょうか。幕末、明治初期における上田の様子をちよつと調べてみました。

上田藩は当時、松平忠固が藩主でした。藤井松平として幕府内においても重責のある地位にあり、幕末当時は老中を務め開国事情に非常に精通しており、井伊大老誕生にも関係しておりました。当時の上田藩は佐幕派として位置づけられております。ここに藩士として櫻井純蔵がおり、嘉永三年頃江戸に遊学に出ます。砲術を習い佐久間象山にも弟子入りをしております。嘉永五年のペリー米鑑浦賀来航のおりは応接所に赴き情勢を探り幕府に報告しております。

安政二年には鹿兒島に遊学しており鹿兒島藩士と交流を深め、その帰途に萩藩（長州藩）に幽閉されていた吉田松陰を訪ねている。一説によれば、松陰は佐久間象山塾の門下生であり、自分が密航を企てたことにより象山先生が塾居になつていたので、幕閣に許しを願うように依頼している。（すでに忠固は老中を退いている）後の万延元年に高杉晋作が佐久間象山を訪ね上田に来たときも饗応し象山を訪ねる窓口となった。資料としては、吉田松陰が桂小五郎に宛てた手紙に佐久間象山を訪ねるように諭し上田藩の櫻井・才川を頼るよう指示を出している。その後の様子は次回。

令和四年度東信ブロック 三役、女性部長会議

総務部長 吾妻 博夫

令和四年十一月十七日午後一時三十分から上田市西部公民館に於いて東信地区の身体障害者協会九団体(三十人)が参加し、開催されました。

今回は、上田身障協が当番に当たり、会場の設営・進行等を務め、当協会からは事務局を含め七名が出席しました。上田市福祉部障がい者支援課の山口課長から祝辞を頂いた後、全員の自己紹介をし、議事に入りました。

県身障協会の活動も、コロナウイルス禍のため令和三、四年とも長野県障がい者福祉大会が中止となりました。令和五年度は、県内福祉を推進する「信州ふつこうフェスティバル」と共催で開催されることになりました。

県の福祉部へは、障害者福祉施策に係る予算の充実、障害者の立場に立った災害者支援など六項目の要望を依頼致しました。次期の県協会の理事と幹事は、東信・小諸・南信・北信から選出することになりました。

また、東信マレットゴルフ大会は諸事情により次回からは中止となりました。
意見等については、各協会と

も高齢化、会員の減少、コロナ禍の協会活動に議論が白熱。定刻を三十分超過し、上田での大会を無事に終了しました。

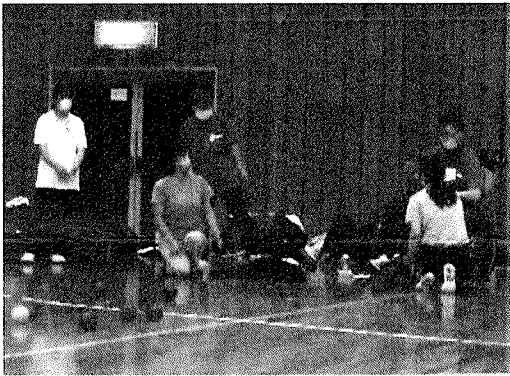
ポッチャ体験会に参加して

神科第一支部 金澤 梨恵

協会からのお誘いを受け、ポッチャ体験会に参加しました。

当日は、市営体育館で長野県立上田千曲高等学校の生徒のみなさんとポッチャ協会の指導員さんに導かれながらのプレーとなりました。

ポッチャは、的に向かって指定のボールを投げて点数を競うもので、的から外れても点数をもらうことができます。また、対戦形式もあり、総合点数により勝敗が決まります。ポッチャ



的は、大きさにより入りやすかったり入りにくかったり、初めての人にはそういったところで楽しむことができます。ポッチャは世界的なスポーツです。日本では、まだまだマイナーなものではありますが、プレー内容はやさしいので、広い年齢層で楽しむことが可能です。今年、高校生との交流体験会でしたが、ポッチャのようなケガをしにくいスポーツが紹介される時には、また参加したいです。

クラブ訪問 木彫クラブ

広報部 高木津留子

木彫クラブを訪問し、お話を伺い、作品を拝見してきました。ふれあいセンター二階の訓練室で毎週木曜日の午前中に活動。講師は、農民美術会会員の茂木文雄先生です。

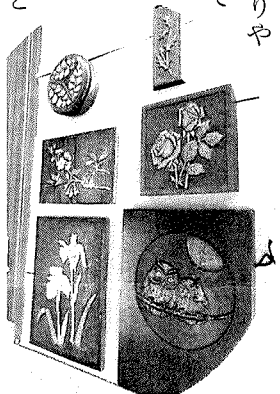
■クラブ長の竹内泉原さんにインタビュー

—素材の木は何を使いますか？
竹内さん 柔らかくて彫りやすいのでシナノキが多いですね。大きな作品は、朴の木をしならないように貼り合わせて使います。

—木彫の楽しさは？
竹内さん 木に触れること

で、木の香りや温かみに癒されます。彫るときの音も木によって随分違うんですよ。彫刻刀で彫るんですが、刀を当てたときに、一刀一刀の方向を考えながら決めていくのも楽しみですね。制作に集中してのめりこみ、別の世界に自分がいるような気分になります。おもしろいですよー。

笑顔で熱く語ってくださいました。クラブ員の皆様が真剣な眼差しで作業を進めていらっしゃいました。



手話

牧内 智子

ね子 枝

右手の人差し指と中指を曲げたままでグーにして、構えた左手の周りをグルンと一周させ、左手の上にポンとのせる

卵

両手の指先を後ろに向けて、小指側を耳の上につけて2回指を曲げる

うつくしの湯

日帰り旅行

中塩田支部 中沢 三恵

令和四年度の親睦旅行は十一月七日(月)、三年ぶりに皆に会えると楽しみにしておりました。行き先は武石の「うつくしの湯」です。集合場所は上田方面と塩田の二箇所だったので、スムーズに乗車できました。バスに乗って、車窓から見える山々の景色は赤や黄色の美しい歌のよう……素晴らしかったです。十一時頃着きました。参加者は十八名です。



部屋では、皆「おひさしぶり」って話に花が咲きました。お昼には、牛井・おそば・サラダなど盛りだくさん。食べ終わった頃、武石のハーモニカクラブ「たんぽぽ」さんの演奏を聴きました。演奏者は八名で、とても迫力があって良かったです。

す。「里の秋」、「千曲川」など、私達が知っている歌で、ハミングしている人もいました。最後に、「ふるさと」を全員で歌って終わりにになりました。

その後は、カラオケをする人、温泉に入る人と分かれて楽しみました。二時半には帰りのバスに乗り、空には雲ひとつない青い空、良い天気恵まれ楽しい集いでした。この旅行を計画してくださった役員の皆様、本当にありがとうございました。

感 雑

西部支部 横沢 瑛

月に一回、回覧で回って行く新聞に永く健康的に過ごすための栄養管理の特集が載っていました。

*QOL(生活の質)を高く保ちつつ生活を送るには、毎日しっかりと活動し、しっかりと栄養を摂取することが肝要と、中でも高齢者にまつわる栄養摂取の問題点として、次の6項目が載っていました。この項目に私の場合を入れてみました。お役にたつかどうか。

1 食欲の低下
体を動かすことが減り、腹が減ったという感覚が少なくなりましたが、反面口がさびしくなり間食が増えた。

2 味覚の低下
甘い辛いをはじめ微妙な味を楽しんでいたが、今はちょっと

(*注)
最近、外国語や流行り言葉が多くなり、このように()書きで表現してくれる記述が減り、年寄りには蚊帳の外へ放り出される昨今ですが、このような表現はありがたいことです。

とした刺激が喉の隅に引っかかり、咳き込んでしまう。

3 噛み砕く力の低下
硬いものはダメ。噛む回数を増やしたり、湯で柔らかくしたり、したがって食事の時間が長くなった。

4 飲み込む力の低下
特に薬。一回に飲む量を減らしたり、それでも、口の中に残るので四苦八苦している。また、むせやすくなった。困ったものだ。

5 唾液の分泌量の低下
食事中は唾液が十分に出てくるまでは飲み込まない。夜喉が渇くのでトイレに起きた時ひと口水分補給をしている。

6 消化能力の低下
食後の時間を十分にとる。昔からの「親が死んでも食休み」である。

皆様もこの項目にそって、ご自分の健康状態を振り返ってみるのもよい機会ではないかと思ひ掲げました。

新年を迎え、幸多い年になるようお祈り申し上げます。

会員の声 よもやま話

私のリハビリ法

泉田支部 石井 貞一

私は脳梗塞のために体幹に障害があります。そんな私が昨年より取り組んでいることがあります。それはリハビリを目的にした野菜の栽培です。わが家に残された畑地は元果樹園で傾斜のきつい山の中にあります。山土のやせた土地で、大きな石や岩がそこら中に埋まっている、どうしようもない場所です。あまりの足元の悪さに夏の草刈りもままならず、とにかく薙にだけはしないようにしていました。

私のリハビリは筋力を維持するためのエアロバイク漕ぎなのですが、これがきつい上に単調でつまらない。どうせ体を動かすのならもっと有意義なことをしたい。そこで考えたのが父親の残してくれたこの山の畑を、もういちど開墾して野菜畑にすることでした。

開墾を始めました。人力だけが頼りの工事です。少しづつしか作業は進みません。大きな岩もいくつも埋まっており、それらをひとつひとつ掘り出しました。そして徐々に傾斜をならして段々畑にしていきました。そこに堆肥や籾殻をまき、管理機で起こしていききました。昨年の秋にタマネギを植え付け、今年には耕作面積を広げながらそこにレタス・キャベツ・ブロッコリー・里芋・シヨウガ・オクラ・キュウリ・長ネギなどを作付けしました。ほとんど無農薬で作りましたが追肥もしなかったにも関わらず予想以上にたくさん収穫できました。収穫をした作物はわが家だけでは消費できないので、母親のお世話になつていて、デイサービスや知人、それぞれに独立している子どもらにおすそ分けして喜んでもらいました。

今年の秋はさらに耕地を増やして来年に備えています。運動量も増え、人に喜んでくれるので、充実したりハビリができています。おかげで血液検査の数値も良くなりました。これからも楽しみながら野菜作りに励んでいきます。

庭に畑が広がると、去年からツルハシと鍬で傾斜地の



信州パーキング・パーミット制度について

上田市福祉部 障がい者支援課 小口 忠 継

皆さんは県内の公共施設、ショッピングセンター、病院、銀行などで「車いすマーク」のある駐車場を見かけた事はありませんか。

このマークのある駐車場は、障がいのある方等の歩行困難な方のために設けられた駐車場です。しかし、健常者の方が車を止め、本来利用を必要としている障がいをお持ちの方が利用できないとの声が多くありました。

この現状を踏まえ、長野県では障がいのある方、高齢の方などで歩行が困難な方、あるいは出産前後やケガで一時的に歩行が困難な方に対して、パーキング・パーミット（利用証）を交付し、施設の身体障がい者等用駐車場の適切な利用を働

信州パーキング・パーミット制度利用証 (障がい者等用駐車場利用証)



車いす使用者

車いす使用者以外

きかける「信州パーキング・パーミット制度」を平成28年から開始しました。駐車区画には車いす使用者が利用できる車いす駐車区画（車いす等、車の扉を全開にしなければ乗降できない方むけの幅3.5m以上の駐車区画）と車いす使用者以外の方が利用できる駐車区画（車の乗降に支障はないが、歩行が困難な方のための入り口付近の通常幅（3.5m未満）の駐車区画）の2種類があります。利用証もそれぞれに対応した2種類があります。

長野県では、信州パーキング・パーミット制度を利用される方の利便性の向上を図るため、制度を実施している全国の各府県と相互利用ができます。これにより、相互利用を行う各府県それぞれで交付された利用証は、相互利用を行ういずれの府県の協力施設においても利用することができます。

利用できる施設や各府県制度の概要などについては、長野県のホームページをご覧ください。利用証の申請は障がい者支援課の窓口、丸子・真田・武石地域自治センターの市民サービス課の窓口で行うことができ、利用証は即日交付することができます。申請に必要な書類については上田市または長野県のホームページをご覧ください。

文芸らん

川柳
金井真田丸
(東御市)
物価高
最後の砦 宝くじ
大相撲
Z世代が 面白い

事務局だより

あけましておめでとうございます。またこうして皆様と新しい年を迎えることができ、とても嬉しく思います。



時が経つのは早いもので、私がいちらにお世話になってから十年になります。これも皆様の温かいお気持ちと協力があればこそだと感謝しております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

月・水・木曜日 9時～17時
火・金曜日 9時～12時

不定期で休むこともありまして、お越しの際は事前に連絡いただけるとありがたいです。

事務局 佐野 香織

編集後記

新年おめでとうございます。穏やかな年になってほしいものです。先日、食料品の廃棄に会がありました。量の多さにびっくりしました。これからは食料品に対して、もう少し意識を高く持つようにしたいと思えました。

自宅で作っている米・野菜等についても感謝の気持ちをもっと持たなくてはと、考えさせられます。

近くの田んぼの土手には、タンポポの株がいっぱいありました。根元には直接丸い蕾がついていて、明るい陽ざしを待っているようです。

原稿にご協力くださいました皆様、ありがとうございます。(小林睦子)

会員消息 (おくやみ)

生前の協会へのご協力に
感謝申し上げます
ご冥福をお祈り申し上げます

- 西部支部 木内 菊代 様
- 泉田支部 佐藤 忠夫 様
- 神科第一支部 立平 はる 様
- 中塩田第一支部 道脇 昌子 様
- 神科第一支部 大島 晴美 様

(2022年7月13日～11月30日受理迄)